

菌りん研新聞

製作者
菌体りん酸肥料
活用研究会
事務局

発行日
2026年3月30日

菌体りん酸肥料活用研究会が始動！

菌体りん酸肥料を活用した資源循環モデルの確立と地域経済の持続的発展を目的とした、「菌体りん酸肥料活用研究会」が24日に発足しました。この研究会は大学関係者・行政・農家・地域企業など多職種連携で地域課題を解決していきます！

設立総会及び研究会当日は総勢50名もの皆様にお集まりいただき、満場一致で設立の承認を頂きました。また、北陸農政局や新潟県による講義の時間では皆熱心に耳を傾けていました。この日生まれた繋がりを大切に、更なる発展に向けて邁進してまいります。

菌体りん酸肥料とは？

2023年に生まれ、新しい規格です。安全性・りん酸等成分の保証がされています。

特裁米にも利用可能！

通常の汚泥肥料と違い、新潟県の特別栽培農産物のコシヒカリや野菜、果物に使用できます。

県内で製造されている菌体りん酸肥料

越肥の輪（えこのわ）にいがた・ながおが

新潟浄化センター（2025年2月登録）及び中越流泥処理センター（2025年4月登録）にて製造されている乾燥肥料。



かんとりースーパー緑水みのり

緑水工業コンポストセンターにて製造されている発酵肥料。

2024年10月に登録されました。

